

VII 学習環境整備事業の概要

市民の学習活動の拠点となる市民館等の基盤整備を行なった。

1 教育文化会館・市民館運営審議会

1987（昭和 62）年度まで 1 審議会です市的な視点による諮問事項について審議してきたが、1988（昭和 63）年度から各館別に 7 審議会（1 館 10 名以内の委員を委嘱）が発足した。2015（平成 27）年度も、それぞれの審議会が地域の諸問題にふれ、住民の学習要求に即応した活動及び運営がさらに豊かになることをねらいに開催した（任期 2 年の 2 年目・年 4 回開催）。

なお、2001（平成 13）年度からは市民の参画を進めるために、各館の運営審議会に 1 名ずつ公募委員の枠が設けられた。公募にあたっては、市政だよりでの一斉広報だけでなく、各館だより、チラシなどでの広報を行っている。

2 刊行・広報活動

市民館等の事業を市民に広報することは、単に参加者の募集のためのみでなく、市民館活動への理解を深め、生涯学習・社会教育に対する認知を広げる意味も大きい。教文だより、市民館だより、ホームページ、ポスターやチラシ、事業ごとの文集など、さまざまな媒体を活用している。

3 職員研修

市民の学習と活動を支援する職員の力量を形成し、施設としての機能と専門性を高めるため、教育委員会人材育成計画に基づき、職員研修を実施している。地域・市民のニーズを把握し、事業を企画・立案・実践する力、学びの機会や課題解決をさぐる方法を市民とともに考える力など、社会教育施設の職員として必要な能力をつけるとともに、新たな課題への対応を図るため、2015（平成 27）年度も 9 コースの研修を実施した。

4 16 ミリ映写機操作技術講習会

2015（平成 27）年度は幸市民館、多摩市民館で実施した。

5 視聴覚ライブラリー事業

市民館等で視聴覚ライブラリー機材・教材の貸出し事業を行った。

Ⅶ 1 教育文化会館・市民館運営審議会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所属	区分	諮問・研究課題	開催月日
教育文化会館	◎ 村社 一夫	教文サークル連絡会 会長	2	子どもの健全育成に教文はいかに関わるか	6・12
	○ 青木 恵美子	川崎市地域女性連絡協議会 会長	2		
	要 辰也	川中島中学校 校長	1		
	岡田 榮子	川崎区文化協会 副会長	2		
	吉浜 富喜	川崎区地域教育会議 議長	2		
	五嶋 竹美	川崎区PTA協議会 顧問	2		
	藤田 悦子	公募委員	3		
	中村 香	玉川大学通信教育部教育学部 教授	4	2・27	
幸市民館	◎ 島田 和代	公募委員	3	人口減少時代に向けた市民館分館のありかたについて	6・17
	○ 中島 由貴	中島歯科医院 院長	4		
	高木 充	西御幸小学校 校長	1		
	○ 片岡 了	明治大学 非常勤講師	4		
	北村 知美	幸区PTA協議会 会計	2		
	酒井 清	幸区文化協会 理事	2		
	佐藤 洋子	幸サークル連絡会 副会長	2		
	金井 岳	小鳩幼稚園 園長	5	3・2	
中原市民館	◎ 小笠原 茂春	中原区子ども会連合会 会長	2	①「次期教育プラン」、②「新たな総合計画」の策定に向けて… ②かわさき教育プラン第1期実施計画（素案）について	6・19
	石倉 司奈子	中原区文化協会 副会長	2		
	石川 奈緒美	苅宿小学校 校長	1		
	○ 小林 松子	中原市民館サークル連絡会 庶務	2		
	小口 益平	中原区新丸子東二・三丁目親和会総務部長	2		
	原 藤次	中原区社会福祉協議会 理事	2		
	為我井 顕	中原区PTA協議会 会長	5		
	金子 孝三	市民公募委員	3	3・9	
高津市民館	◎ 金 俊一郎	高津区地域教育会議 議長	2	人権の観点から必要とされる講座を考える	6・22
	竹口 政雄	新作小学校 校長	1		
	山上 悟司	高津区PTA協議会 副会長	2		
	田村 富彦	高津区文化協会 事務局長	2		
	秋元 晴男	高津区全町内会連合会 理事	2		
	迎 スミ子	川崎市男女共同参画センター 館長	2		
	仙北谷 力	公募委員	3		
	鈴木 文治	田園調布学園大学人間福祉学部 教授	4	2・28	
	山本 多央子	東高津中学校PTA	5		
宮前市民館	◎ 川西 和子	調査モデレーター・分析・各種司会	4	地域人材の創出について	6・16
	○ 舟本 正子	平小学校 校長	1		
	中村 富美和	宮前区文化協会 会計監査	2		
	今仁 將	向丘第1地区民生委員児童委員協議会会長	2		
	野田 精一	菅生分館利用者懇談会 元会長	2		
	持田 和夫	宮前区全町内・自治会連合会 副会長	2		
	近藤 桃子	川崎市青少年の家ユースワーカーズ倶楽部	3		
	中上川 昭	宮前区PTA協議会 元会長	5	3・4	
多摩市民館	◎ 米田 信一	多摩区地域教育会議 議長	2	多摩市民館事業における若者の参加と世代間交流について	6・3
	○ 小澤 章子	たま学習サークル連絡会 会長	2		
	遠藤 秀樹	宿河原小学校 校長	1		
	古谷 欣治	多摩区町会連合会 会計	2		
	片野 貴人	多摩区PTA協議会 書記	2		
	吉田 紀代子	多摩区社会福祉協議会 理事	2		
		小林 裕子	公募委員		3
	大下 勝巳	NPO法人かわさき創造プロジェクト 代表理事	5	3・6	
麻生市民館	◎ 井上 俊夫	公募委員	3	市民館の若い世代の活用促進について	6・9
	○ 橋本 周	麻生区文化協会	2		
	井藤 直美	西生田中学校 校長	1		
	松井 達也	麻生区町会連合会理事	2		
	本玉 秀夫	麻生市民館サークル連絡会 副会長	2		
	鈴木 浩子	麻生区地域教育会議	2		
		岩本 陽児	和光大学 教授		4
	西田 展子	麻生区PTA協議会	5	2・20	

※区分 1:区内に設置された学校の長 2:区内の社会教育団体から推薦された者 3:区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 4:学識経験者(川崎市民館条例 第21条第4項、川崎市教育文化会館条例 第21条第4項による)

Ⅶ 2 刊行・広報活動

教育文化会館だより・市民館だよりの発行一覧

教文	教育文化会館だより	年7回	各回	9,500部	
大師	プラザ大師インフォメーション	年7回	各回	9,500部	(教文だよりに併載)
田島	プラザ田島だより	年7回	各回	9,500部	(教文だよりに併載)
幸	幸市民館だより	年6回	各回	7,300部	
日吉	日吉分館だより	年6回	各回	7,300部	(幸市民館だよりに併載)
中原	中原市民館だより	年6回	各回	10,000部	
高津	高津市民館だより	年6回	各回	9,000部	
橘	プラザ橘だより	年5回	各回	4,000部	
宮前	宮前市民館だより	年7回	各回	8,500部	
菅生	菅生分館だより	年6回	各回	2,800部	
多摩	多摩市民館だより	年5回	各回	7,300部	(うち1回は子育て特集号)
麻生	麻生市民館だより	年6回	各回	8,000部	
岡上	岡上分館だより	年6回	各回	8,000部	(麻生市民館だよりに併載)

Ⅶ 3 職員研修（生涯学習推進課 研修数全 10）

研修名	対象	回数	趣旨
社会教育 初任者研修	社会教育・行政職員（新任・未経験）	6	社会教育初任者として必要な基礎的知識や実践能力を養う
	内容	延べ人数	156人
	①オリエンテーション、社会教育・生涯学習とは ②川崎の生涯学習・社会教育の目指すもの ③川崎市の人権教育を学ぶ ～男女共同参画の推進に向けて～ ④人に好かれる聴き方・話し方とは？ ～窓口・電話などでのクレーム対応～ ⑤社会教育施設の課題と取り組み～市民館・図書館・博物館の実像に迫る ⑥これからの川崎の博物館・図書館・市民館のあり方、研修のまとめ		
研修名	対象	回数	趣旨
指導・経営研修	社会教育・行政職員（主任～課長・施設長）	1	職場集団をまとめ、指導、補佐する職員や施設を経営する職員として必要な能力を養う
	内容	延べ人数	53人
	イクボスのすすめ～職場革命～		
研修名	対象	回数	趣旨
生涯学習研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	2	社会教育施設職員として必要な生涯学習・学社融合に関する基本的な知識や実践的な能力を養う
	内容	延べ人数	44人
	①川崎市初の国史跡指定文化財から学ぶ橘樹官衙遺跡群（橘樹官衙遺跡・影向寺遺跡） ②特別講話 「私にとっての社会教育とは」		
研修名	対象	回数	趣旨
人権尊重研修	社会教育・行政職員、学校教職員、市民	2	教育職員として不可欠な人権に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う
	内容	延べ人数	37人
	①川崎市の人権教育を学ぶ ～男女共同参画の推進に向けて～＜初任者研修と合同＞ ②戦後70年、今、平和を学ぶことの意義は何か		
研修名	対象	回数	趣旨
課題研修	社会教育・行政職員、学校教職員	5	社会教育における様々な課題についての問題意識・専門性を高めることを目的とする
	内容	延べ人数	67人
	①戦後70年、今、平和を学ぶことの意義は何か ②「施設の省エネ対策」を考える ③「他都市の公民館で市民と協働事業に関わる社会教育指導員の事例報告と課題及び情報交換」～公民館で楽しむ高齢者生涯学習学級 あすなる大学をとおして～ ④知的障がい・発達障がいの人の意思・決定をどう支援するか ～意志がわかりづらい人への意思決定支援とは～ ⑤「図書館をPRする」実践講座～効果的にどう伝えたらいいのか～		
研修名	対象	回数	趣旨
自主グループ研修	社会教育（全施設）・行政職員	37	社会教育職員が、その専門的能力の向上を図るために、自ら研修を行うことを支援する
	内容	延べ人数	259人
	Aグループ:「図書館展示を考える」 全12回 Bグループ:「市民館の魅力を広く市民に伝えるために」～Part2 ポスター編～ 全11回 Cグループ:「社会教育施設の連携・ネットワークを探る」 全12回 研修報告会		

研修名	対 象	回数	趣 旨	
市民館基礎研修	市民館職員（新任・未経験）	6	市民館の役割や課題を理解し、基本的な業務に必要な実践的能力を養う	
	内 容		延べ人数	65 人
	①オリエンテーション、アイスブレイキング・学習計画パズル ②先輩職員に学ぶ「家庭・地域教育学級」 ③地域課題を考える～受講者の声、地域情報から ④「家庭・地域教育学級」学習計画づくり① ⑤「家庭・地域教育学級」学習計画づくり② ⑥学習計画発表会、振り返り			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
市民館基礎研修 part II	市民館職員（2年目）	5	学級運営の能力を養うとともに、地域課題を的確に捉え、市民と協働して市民館事業を進める力を培う	
	内 容		延べ人数	55 人
	①オリエンテーション、1年目に関与した事業等を振り返り、これから必要と思われるスキルを確認する ②〇即、学級・講座に使えるアイスブレイキング 〇事例発表「公民館の廃止と市長部局移管・生涯学習センターの指定管理者制度導入～横須賀市の事例から～」 〇事例発表「川崎市教育文化会館の人権学習事業について」 〇情報交換「本日の振り返りと各公民館の状況について」先輩職員に学ぶ～学級運営のポイント/私はこんなことに気を配っています ③先輩職員から学ぶ ～学級・講座の運営と終了後の学習グループへの立ち上げについて～他 ④先輩職員の学級講座を見学 ⑤先輩職員の学級講座を見学して～体験交流とまとめ			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
図書館職員研修	図書館職員・行政職員・学校図書館関係職員	6	図書館の基本的業務に必要な実践的能力を養う	
	内 容		延べ人数	101 人
	①図書館初任者端末研修 を学ぶ ②図書館の接遇、トラブル対応 ③図書館の経理事務 ④図書館初任者レファレンス研修 ⑤データベース操作について D1-Low、聞蔵Ⅱ、ジャパンナレッジ Lib ⑥全体研修「地域を調べる・川崎を知る」			
研修名	対 象	回数	趣 旨	
博物館職員研修	博物館職員・行政職員・学校教職員	1	博物館の役割や今日的課題を学び、業務に必要な実践的能力を養う	
	内 容		延べ人数	20 人
	博物館運営の課題と今後に向けて			

Ⅶ 4 視聴覚ライブラリー事業（機材一覧）

視聴覚ライブラリー機材・教材貸出事業

○機材一覧

	暗幕	16ミリ映写機	スライド映写機	OHP	OHC	ビデオ・モニター	スクリーン	液晶ビデオ映写機※	ビデオ編集機	アンプ
教育文化会館	14	3	2	1	1	1	5	2 (1)	0	1
幸市民館	30	2	1	1	1	1	3	2 (2)	0	0
中原市民館	4	1	1	1	1	1	1	1 (1)	1	3
高津市民館	20	2	2	2	0	1	0	2 (1)	1	1
宮前市民館	28	5	4	2	0	1	1	2 (1)	1	1
多摩市民館	20	3	2	1	0	1	1	2 (1)	1	0
麻生市民館	17	5	2	2	1	1	2	2 (1)	0	2
総合教育センター	90	7	5	2	2	1	2	3 (3)	0	1

(視聴覚教材利用状況)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
教育文化会館	貸出本数	7	10	11	14	17	4	0	5	6	4	7	3	88
	利用人数	268	439	63	1,253	1,598	36	0	43	168	305	567	47	4,787
幸市民館	貸出本数	0	4	13	1	6	11	6	0	0	0	4	0	45
	利用人数	0	0	2,472	3	606	226	406	0	0	0	400	0	4,113
中原市民館	貸出本数	0	0	0	16	0	2	4	3	1	3	0	2	31
	利用人数	0	0	0	3,782	0	200	25	180	40	129	0	750	5,106
高津市民館	貸出本数	8	0	1	15	0	8	1	3	5	4	10	11	66
	利用人数	628	0	300	1,404	0	378	40	3	320	230	67	297	3,667
宮前市民館	貸出本数	6	5	8	14	1	0	1	1	6	0	2	0	44
	利用人数	200	300	503	11,404	90	0	390	60	240	0	860	0	14,047
多摩市民館	貸出本数	1	0	2	8	0	3	0	0	1	1	2	0	18
	利用人数	20	0	43	4,050	0	12	0	0	0	0	20	0	4,145
麻生市民館	貸出本数	0	0	0	11	0	0	5	1	0	2	3	6	28
	利用人数	0	0	0	658	0	0	115	20	0	80	0	300	1,173
総合教育センター	貸出本数	0	3	6	10	2	0	1	2	1	1	6	0	32
	利用人数	0	184	180	1,520	202	0	60	12	30	1	1,063	0	3,252
合計	貸出本数	22	22	41	89	26	28	18	15	20	15	34	22	352
	利用人数	1,116	923	3,561	24,074	2,496	852	1,036	318	798	745	2,977	1,394	40,290

○団体別利用状況（2015（平成27）年4月～2016（平成28）年3月）

教材	団体	市官 役公 所庁						企工 場 業等						市学 校 教 委 校 関 係						社関 会係 教団 育体									
		教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生
暗幕					2																								
16ミリ 映写機		2																											
スライド																										1			
OHP/OHC		4	1					1	1												1	2		1					3
ビデオ・ モニター		2						1		6	5				1						1	2	1	1		3		2	3
プロジェ クター	6	44	3	24	9	7		83	5	42	40	4	24		21	5	2	8			19	12	26	22	5	10	1		40
スクリーン	6	16	4	4	5			118	3	33	9	3	2		43	4	1	3			21	14	23	12	8	2	1		35
その他	3	65			2			6	18		2		18		2	13		2			39	5	2	99			2	17	

教材	団体	サ ト ー ク ル 体						自 町 治 内 会 会						そ の 他						合 計						総 計				
		教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原	高 津	宮 前	多 摩	麻 生	教 文	幸	中 原		高 津	宮 前	多 摩	麻 生
暗幕					2				1														1				4			5
16ミリ 映写機						1																	2				1		3	
スライド				19																					19	1			20	
OHP/OHC			3		1		8																6	5		1	1	13	26	
ビデオ・ モニター	6		40	41	13	12	7								14								23	3	46	49	14	15	12	162
プロジェ クター	9	33	103	84	43	118	55		2		3	7			87	3	9	7	3				232	114	164	176	67	168	107	1028
スクリーン	11	19	49	20	49	7	65		2			1			131	1	9		1				332	57	104	38	60	30	114	735
その他		172	8	13	15	56	72		3						12	5		1	1	1			25	375	8	18	18	116	94	654

Ⅶ 5 16ミリ映写機操作技術講習会

会 場	開 催 日	参加者	内 容
幸市民館	平成27年9月27日	11人	・映写機の原理と構造及び利用方法 ・映写機の操作実習 ・映画フィルムの取扱い方法 ・視聴覚ライブラリーの利用方法
多摩市民館	平成27年6月29日	16人	